

(様式3)

## 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・いのちとくらしを守るを基本理念に花と動物に囲まれた自然環境の中で利用者、家族、地域の方々と支え合い地域社会に貢献することを目的とする。</p>	<p>○</p> <p>・地域密着型サービスの特性を生かした理念の作成と職員への周知徹底を図る。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・理念を家族や職員、来客者の目にとりやすい玄関に掲示している。管理者と職員が理念を毎日唱和することにより、共有し日々のサービス提供場面において、ごく自然な形で理念が実践されている。</p>	<p>・理念の共有化に向けて職員間で話し合う機会を持つようにする。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・家族には契約時に説明し取り組みを理解していただく。玄関に掲示しパンフレットやホームページに掲載している。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・日々の散歩と地域行事（寄り合い・環境美化デー・とんど）町の敬老会・小学校の運動会に参加、町の文化祭に作品を展示する等、又、施設行事に参加し地域の方々と交流に努めている。</p>	<p>地域行事への参加、地元の方々との交流の機会を増やし積極的に地域活動に参加するように努める。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・よろず相談の場として相談があればすぐに対応できるように取り組んでいる。サービスの利用方法等在宅新聞やホームページで紹介し、訪問等で情報収集と状況把握に努めている。</p>	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>第三者評価を受けることで、利用者へのサービスの向上と職員への周知徹底を図り、改善点についても後の支援に生かすように努める。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・二カ月に一回の運営推進会議に事業所の現状や行事について報告を行っている。また、会議で取り上げられた検討事項については助言をいただきサービスの改善に取り組む。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・介護サービス事業所連絡会で市町担当者等と情報交換し地域高齢者のための連携が図れるように取り組む。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・管理者や職員は権利擁護事業や成年後見人制度について外部研修へ参加している。</p>	<p>・成年後見人制度について、職員もさらに知識を高め、今後、地域の高齢化が進み該当する高齢者も増えると予測されるため活用できるように取り組む。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>介護支援専門研修会で研修を受けた職員もいるが、今後、虐待防止のため高齢者虐待防止の関連法について学び事業所内で虐待がないよう防止に努めていく。</p>	<p>今後も虐待防止の研修を受けて知識の理解を図る</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が直接不満や苦情を訴えられた場合は、その場で話し合い希望をかなえられように取り組んでいる。</li> <li>・意見箱の設置と苦情等に対応する窓口があり、利用者等の意見を反映させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見、不満、苦情については職員間で情報を共有し早く対応するように務める。</li> </ul>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活状態や健康状態については、状況に合わせた連絡を行っている。</li> <li>・金銭管理については3か月ごとに報告している。</li> <li>・職員の異動についてはサンホーム通信で伝えるようにしている。</li> </ul>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時に意見、不満、苦情があれば何うようにしている。</li> <li>・意見箱の設置と苦情等に対応する窓口があり、家族等の意見を反映させている。</li> </ul>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から職員の意見や提案を聴くようにしている。改善できることはすぐ取り組むように努力している。</li> </ul>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の時は人数を多く配置している。夜間等、緊急の場合は対応できるように配置している。</li> </ul>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・異動や離職時に備え日常的に職員や利用者同士の交流が活発におこなえている。</p> <p>・小規模多機能と併設されており常にどちらの仕事も把握できるような勤務体制である。(事業所間・ユニット間を超えて利用者や馴染みの関係ができています)</p>	
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・新人職員や異動後の職員には個別に研修を行っている。また、職員は施設内外の研修に多く参加している。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・ネットワーク作りは現状で行えていないが、同業者との相互訪問等の活動を通じて情報交換や交流する機会があり知識の向上に努めている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・必要に応じて個別には面談している。ストレスを軽減するための工夫や環境づくりに積極的に取り組んでいる。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・毎月、個人目標を立て目標達成に向けて努力し自己評価をしている。</p> <p>・職員個々の努力と勤務状況を把握し得意な分野で能力を発揮できるように努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族やケアマネからの情報収集を行い、普段から本人の思いや状態把握に努めている。また、本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・ご家族と話す機会を作り、また、面会時に家族が抱えている悩みや不安などを聴き、家族の思いを受け止める努力をしている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・相談時にはご本人とその周囲の状況把握に努め、いろいろなサービスの選択肢も紹介する等努めている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・利用開始前にホームへの事前見学や交流の機会が持てるように支援している。併設事業所からの入所もあり、人・場所・風景・動物にもなじみの関係ができており、在宅や他施設から来られる方も安心して利用していただける環境である。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・生活歴やご家族の話を充分聞き、個人個人の得意な事を知る。それを生活の中で生かすことができるように努めている。</p>	<p>・家族と一緒に利用者を支援できる関係を積極的に築く。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>・家族の思いを受け止めながら、電話や面会時には利用者の生活状況を機会あるごとに伝えるようにしている。また、家族より利用者が経験や体験されたことを聞き、共感し共に支えあうように努力している。</p>	
29	<p>利用者との家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>・いつでも外出や面会ができるようにしている。 ・家族が面会に来られた時には、家族の状況把握に努めている。 ・家族みんなが関われるように必要な情報等は伝えるように努めている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・友人等の面会を受けれたり、入院中のご主人の面会に外出する機会があれば同行し、利用者が今まで築いてきた馴染みの関係が継続できるように支援に努めている。</p>	全職員が、個人差なく情報を共有して生活支援できるように努める。
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>・利用者同士が互いに誘いあったり、話を聞いてあげたり、さりげなく支えあっている姿があり、仲間作りができている。職員も見守りながら、交流が深められる様に気配りしている。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>・1名の方が退所されたが併設の特養に入所されており訪問しお話を伺っている。又、ご家族が面会に来られた時には、お話する機会を持つように努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・介護計画と記録については情報の共有を図り実践や介護計画の見直しに生かせるように努めている。</p>	<p>・職員の力量の差よりがあり、対応にばらつきが見られるので統一した生活支援ができるように努める。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・小規模と併設されている為入所希望の方は、予約していただき、待機待ちでお泊りを利用することにより馴染みの関係ができています。</p> <p>・職員も入所前から、利用者の状況把握ができるのでよりスムーズに生活支援できる。</p> <p>特養やデイサービス利用者とともに行事を行う。</p>	
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>併設施設のボランティア散髪や喫茶等を活用している。消防署にはAED研修・心肺蘇生法などの指導を受けている。教育機関との連携については大学生等の実習を受け入れている。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>・利用者や家族の必要に応じて、短期入所生活介護センターや居宅介護事業所を紹介したり福祉用具の希望があれば支援している。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>・運営推進会議に参加していただき、報告相談を行っている。</p>	



	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者と家族の希望により、かかりつけ医への受診や往診依頼をしている。協力医療機関との連携を図り希望に沿った受診対応をしている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症専門医による月2回の往診により治療薬の量等の調節している。又、職員や家族の精神面の相談等にも応じて頂いている。また状態変化に応じてメールや電話で報告し指示・助言が得られるようにしている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・併設特養の看護師と通所介護の看護師に気軽に相談したり様子観察を兼ねた交流もおこなっている。 ・特養看護職と情報を共有し健康管理を行っている。夜間の緊急時は待機看護師に依頼する。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・入院するときは、情報提供を行っている。早期退院に向けて病院関係者との情報交換や相談に努めている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・ご本人の意見を尊重し終末に向け、ご家族と相談している段階である。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>事例はないものの今後のために特養のマニュアルで学びを深めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・併設施設の等への移動は、職員間で密な連絡を取り合い、自然になじむ環境づくりに努めているため住み替えのダメージは少ない。</p> <p>・在宅や他の施設に移られる場合については詳細な情報提供を行いダメージの軽減に努めていきたい。</p>	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・言葉かけや対応に関して常に気をつけるように注意している。個人情報の取り扱いについてもプライバシーをそこなわないよう対応している。排泄や入浴場面においてもプライバシーの確保に細心の注意を払っている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・本人の意思に従って無理強いせず自己決定を支援している。話をゆっくりと聞き、ご本人の希望を聞きだし納得できる生活が送れるように生活支援している。。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・掃除や洗濯、買い物の同行等同意や希望をその都度伺いつつ、ペースや能力に応じた声かけを行っている。また、その日をどのように過ごしたいか等、希望にそった支援とまでは、できていないが、一人ひとりのペースに合わせた生活支援を行っている。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・家族の付き添いにて美容院へ行っていただいたり併設施設に来所される理美容師による散髪を利用していただきご本人の希望される髪形にカットしていただいている。衣類の購入も本人の希望に沿うように買い物に同行しておしゃれを楽しむことができるように支援している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・一人ひとりの好みや能力に応じた役割を担っていただいている。食事の準備や後片付け。また、冬場にはあたたかい鍋を一緒に囲むなど家庭的な雰囲気の中で食事を楽しんで頂けるように心懸けている。</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・買い物外出などを通じて個人の嗜好品を購入したり、飲み物については数種類準備しご希望をうかがっている。お酒の好きな方には晩酌を進める等日常的に楽しめるよう支援している。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・排泄パターンを把握し個人の習慣に合わせた誘導を行い気持ち良く排泄できるように支援している。また、誘導時には、プライバシーに配慮した声かけを行っている。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴については、好みの湯温・湯船につかる時間も各利用者ごとに対応している。また、機械浴槽も2か所あり能力に応じた浴槽を利用させていただいている。できる限りリラックスできるよう入浴支援している。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>・散歩に同行し活動量の維持に努めている。その人の生活習慣に合わせた生活支援を行っている。また状況や体調に合わせて就寝前の飲み物や空調を調節している。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・利用者の生活歴、趣味や習慣、出来る事を把握し利用者一人一人が主役となれるよう支援している。</p>	<p>・利用者の生活歴、趣味や習慣、出来る事を把握し利用者一人一人が主役となれるように全職員が共有し統一した対応ができるように努めていきたい。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・買いたいものがあれば一緒に行きレジに並んで頂く事にしている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気の良い日には施設周辺を散歩している。 又、毎日家族と散歩を楽しんでいる方がおられる。 ・ドライブ・買い物や外食などの外出する機会をできるだけ多く設けるよう努める。		・散歩をすることにより気分転換をはかり、また両下肢筋力低下の予防に努める。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・個別の買い物外出支援を行っている。利用者の体調なども配慮しながら外出できる機会を設けるようにしている。流動的ではあるけれども外出できる機会をつくっている。 ・併設施設との合同での日帰り旅行へも希望により参加していただいている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・お仕事をされている家族への配慮も忘れずに、できるだけ電話したい時に電話がかけられるように支援する。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時には気軽に声をかけ、遠慮なくお茶を飲んで頂いたり、リビングでゆっくり話せるように配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・新人研修や施設内研修を通じて理解や知識を習得出来る機会としている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・立地している場所が山と川に囲まれていて、危険である。命の安全を守るため、やむをえず内玄関の施錠はしているが中庭は、自由に出這入りができ花の観賞や土いじりもできるようにしている。利用者の散歩等は、都度対応している。	
67	利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・利用者のプライバシーに配慮しながら、時間ごとの所在確認と見守りを行う等、安全に配慮している。	
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・利用者の状態により、異食などの行為がある方は、どんなものが危険なのかを把握して、物品を管理している。危険な薬品や洗剤には保管上配慮しているが調理器具や食品については一般的な保管であり現在、支障はや問題はない。今後状況の変化にあわせ対応していく。	
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・併設施設との合同委員会があり全職員間で情報を共有して事故防止に努めている。	
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・定期的に救急蘇生法やAEDの講習を受講するようにしている。	
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・2から3ヶ月に1回、施設全体の避難訓練を実施している。地域代表の方には運営推進会議で協力依頼している。	・火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>・日頃から、家族への報告をし、現状を伝えることにしており、その人らしい生活をしていただけるように職員で話し合っている。</p>	-
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>・日頃とは違った体調の変化や異変に気づいた時は、必要に応じてかかりつけ医と連絡をとり病院受診する。また、対応を口頭で報告しあったり、申し送りノートを活用し情報を伝達し、共有を図っている。</p>	職員誰もが異変に気づくように心がける。
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>・個人ファイルに情報ははさんでおりいつでも職員が見えるようにしている。配薬から服薬までのマニュアルを作成し適切な服薬の支援に努めている。</p>	<p>・一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について全職員が理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に努める。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>・食事や飲み物の工夫や水分摂取を促したり体操や散歩などの活動量の増加、腹部マッサージや温電法など状況に合わせた対応を行っている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>・朝夕食後と寝る前は入れ歯の手入れ歯磨きを指導している。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士の指導のもと栄養バランスのとれた食事となる工夫をしている。食事と水分の摂取状況をチェックして記録している。食事形態も、利用者の状況に応じてごく刻みにしている。</p>	嚥下が低下しないように、食事前には嚥下体操の実施をレクの中に取り入れる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防については、マニュアルが有り、手洗いやうがい等流行時期に応じた注意を促している。利用者と職員ともにインフルエンザワクチン接種をしている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫の食材の点検処分を行う。調理台付近は、使用後整理整頓に心がけている。		冷蔵庫の食材やおやつ管理については、定期的にチェックする。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関には柵がなく家庭的な雰囲気がある。また、花壇と小さな畑があり、近隣の方と利用者や家族とも話題になり野菜などの成長を楽しみにしている。また、職員も気軽に声かけをしようとしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・明るく広いリビングで、個々人でそれぞれの居場所が有り、静かに過ごして頂ける空間を作っている。また、居室入り口には花を生けたり季節を感じていただく工夫をしている。介護犬が1頭一緒に生活しており和やかな雰囲気づくりに貢献してくれている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・共用のリビングにはソファを置き、気の合う者同士で過ごせるよう数人掛けのソファをおいたり、ホームコタツを置き、家庭的で温かい居場所づくり努めている。またソファも各所に配置することで一人で過ごす空間づくりをする等配慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・使い慣れたテレビや椅子冷蔵庫等を持ち込んで頂き、装飾等もご家族やご本人と相談しながら行うなど、居心地の良いお部屋づくりを心がけている。</p>	<p>・家族と相談して、馴染みのもの等を持参してもらい居室をもっと居心地よく過ごせるように工夫する。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>・利用者の状況に応じた湿度・温度管理・換気をこまめに行っている。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・建物内はバリアフリーに設計されて、手すりも設置している。一人一人が自分で行きたいところに移動できるように整備している。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>/トイレはトイレマークを扉に付け浴室はのれんで分かるようにしている。居室の入り口はその人の家の玄関であるということで名前を書いたネームプレートを下げている。</p>	
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>・広い中庭があり、花壇には花が咲き畑には野菜が育ち、利用者と一緒に手入れをする等作物が大きくなるのを楽しみにしている。</p>	<p>・花壇には花が咲き、草取り等一緒に手入れをしているが、今後は、広い中庭を憩いの場として多目に活用していきたい。</p>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

\* 自然に恵まれた環境で花に囲まれ、動物達とともに生活できる明るい施設です。また、動物と触れ合うことで生活に潤いを与え心を癒します。